

事務事業名	市役所分庁舎(上下水道部庁舎)整備事業	所属部	上下水道部	所属課	総務課	
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	総務G	
	施策名	〈05〉時代にあった行政サービスの実現		担当者名	飯島 昭	
	目的: 対象	A)市民 B)行政機能	意図	公平で効率的なサービスを受ける(提供する)。	電話番号	0854-42-3473 (内線) 4642
	基本事業名	〈015〉市民に親しまれる行政サービスの提供		予算科目	会計 款 大事業 大事業 0:11007 業名 項 目 中事業 中事業 0:53008 業名	
目的: 対象	市民	意図	行政サービスに満足する。		庁舎施設整備事業 分庁舎施設整備事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H30 年度 ~ R3 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
① 設計業務(H30年度~R元年度) ② 本体工事(R2年度~R3年度) ③ 付帯工事(R2年度~R3年度) ④ 用地取得(R元年度) ⑤ 単独事業(R2年度~R3年度) 総事業費 568,354千円
起債名: 合併特例債

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	R元年度実績(R元年度に行った主な活動) 設計、アスベスト調査及び建設用地取得。	R2年度計画(R2年度に計画する主な活動) 本体工事(建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事)及び付帯工事。			
	② 活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	ア 設計業務受託者協議回数	回	3	5	10	12
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	市役所分庁舎(上下水道部庁舎)施設	③ 対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)	
			ア 設計業務等	件			2	2	1
			イ 用地取得	m <sup>2</sup>			0	663	663
			ウ 本体工事	件			0	0	3
		② 意図(対象がどのような状態になるのか)	災害時の上下水道の拠点施設としての役割を果たすことができる施設を整備する	④ 成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
				ア 事業進捗率(設計業務)	%		18.0	100.0	100.0
			イ 事業進捗率(用地取得)	%		0.0	100.0	100.0	
			ウ 事業進捗率(本体工事)	%		0.0	0.0	75.0	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
設計業務委託費 10,778千円 確認申請手数料等 219千円 用地取得費 24,067千円 アスベスト調査費 407千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円		5,600	33,400	293,900
	その他	千円				
	一般財源	千円		345	2,071	15,528
	事業費計(A)	千円		5,945	35,471	309,428
	人件費	人		5	2	
	正規職員従事人数	人		5	2	
	延べ業務時間	時間		135	64	
	人件費計(B)	千円		585	271	
	トータルコスト(A)+(B)	千円		6,530	35,742	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
市民の重要なライフラインである上下水道の拠点施設(災害対応等)として機能を果たす必要がある。	耐震診断等の調査を実施した。	上下水道部庁舎の老朽化が進展し、市民の重要なライフラインである上下水道の拠点施設(災害対応等)としての機能が果たせない状況にあり、早急な整備を要望されている。水道料金及び下水道使用料に影響の少ない整備方法を検討すること。

事務事業名	市役所分庁舎(上下水道部庁舎)整備事業	所属部	上下水道部	所属課	総務課
-------	---------------------	-----	-------	-----	-----

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合⇒	見直し余地があるとする理由																										
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である *余地がある場合⇒																											
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合⇒																											
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 理由 市民の重要なライフラインである上下水道の拠点施設(災害対応等)として機能を果たすことができる。																											
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 理由 市民の重要なライフラインである上下水道の拠点施設(災害対応等)として機能を果たす必要があり、廃止・休止はできない。																											
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒(具体的な手段や類似事業名) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない 理由 上下水道部の職員が執務できるスペースを有する空いた公共施設が確保できない、または既に他への用途が決定している。																											
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 実施設計のなかで、検討したが削減の余地はない。																											
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 最小限の人数で対応しているため、削減の余地はない。																											
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由 公共施設整備であることから、公平公正である。																											
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 設計、地質調査と市役所分庁舎(上下水道部庁舎)の建設に向け順調に進捗している。																										
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																											
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 令和元年に実施設計及び用地取得を行い、令和2年度から本体工事等の建設を行う。			② 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下	維持		×		低下			×
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持		●	×																									
低下	維持		×																										
	低下			×																									

## 3 今後の方向性【PLAN】